

# 二代目萬代橋 ①

完成年月日	: 明治42 (1909) 年12月
全長	: 約782m
幅	: 約7.9m
工事費	: 約126,000円
設計者	: 県内務部土木課

## ■二代目萬代橋の架橋

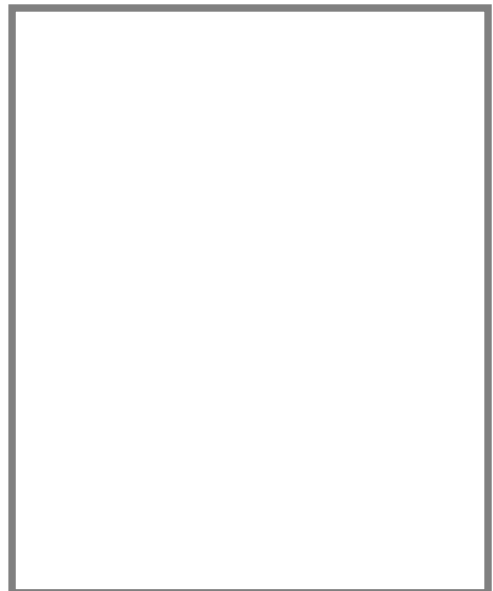
初代萬代橋の老朽化に伴い、明治40 (1907) 年に県は通常県会で萬代橋架け替えの提案をしました。大工事であること、交通量が多いことから、明治41年から2か年計画で行われることになりました。

工事の認可が下り、着工を待つ明治41 (1908) 年3月8日、市内中心部1,198戸が全焼した大火により、萬代橋の半分以上(約480m)が焼失しました。

その後、仮萬代橋が架橋された6月30日まで人々は復活した渡し舟で行き来することとなりました。

二代目萬代橋の工事が始まったのは8月5日でした。二代目は、初代の水面下の橋脚(地杭)を利用して、上部を造り換える設計でした。橋の長さ約782m、幅は初代よりも0.6m広い7.9mでした。翌年6月5日に下流側が、12月23日に上流側が竣工し、二代目萬代橋が完成しました。八角形の親柱、欄干のデザインなどは初代とそっくりでした。

萬代橋の焼失によって、新潟市民・沼垂町民はそのありがたさを実感することになりました。



仮萬代橋西詰 (新潟市歴史博物館所蔵)



仮萬代橋 (当館所蔵)

大半部分が、普通の木橋に比べて架橋費が安い吊り橋であった



大正13年頃の東詰側から見た萬代橋 (当館所蔵)

対岸右端には報時塔 (現大円寺公園) が見える